

一般社団法人 浜松市歯科医師会  
における口腔がん早期発見事業  
への取り組み

一般社団法人 浜松市歯科医師会  
成人歯科専門部会

代表者 朝比奈 尚之

村上	文彦	松岡	正樹
大杉	敏夫	森田	一彦
飯嶋	尚	小林	芳彦
木村	好明	若杉	正則
深谷	直弘	河口	泰之
武田	成久	清水	基宏
富田	文仁	森 健	太郎
吉井	正仁	鈴木	謙司
手嶋	健介	鈴木	隆之
竹内	公生	足立	友秀
齊田	勇介	中川	貴晴
長野	正弘		

## 内容の要約

### 〈目的〉

日本の口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物の死亡数は、毎年増え続けていて、この10年で2,000人近くも増えています。また、口腔がんは全がんの1～2%、全頭頸部がんの約40%を占め、今後、人口の高齢化がさらに進むとまだまだ口腔がん患者も増加し続ける可能性があります。

アメリカやイギリスなどでは国を挙げてがん対策に取り組んでいて、その結果、罹患率は高いのですがアメリカの口腔がんの死亡者数は、急激な減少がみられますし、他の先進国の口腔・咽頭がんの死亡率をみても、アメリカと同様に減少傾向を示しています。ところが、わが国では罹患率、死亡率とも残念ながら増加傾向を示しています。

浜松市歯科医師会では日常の診察で口腔内を直視する歯科医院での口腔がん早期発見のスクリーニング機能の強化、市民への啓発活動を行うことによって、市民の健康の保持増進に役立つものと考え、地域の歯科医師、歯科衛生士等の歯科医療関係者を対象に、口腔がん早期発見に関する知識、医療技術の講習会、検診を行なうことにより、必要な医療体制を構築することを目的に口腔がん早期発見事業を実施しました。

### 〈方法〉

1. 浜松市歯科医師会会員を対象とした講習会（4回）
  2. 市民公開講座による市民への啓発
  3. 口腔がん無料相談
  4. 浜松市歯科医師会会員を対象とした症例検討会
- を行いました。

### 〈まとめ〉

アメリカを含めた先進国では、国を挙げての積極的な口腔がん対策による早期発見、早期治療が口腔がんによる死亡率を減少させました。特に各基幹施設や基幹病院が中心となって、国民の口の中を一番診るであろう歯科医師を教育し、啓発する体制ができていることが大きな理由といわれています。国民に、口の中にもがんができることを知ってもらい、口腔がん予防対策を広く普及させ、口腔がんにならないようにすること、さらに口腔がんの検診システムを構築することが、口腔がん死亡する人を少なくすることにつながると思われます。

また日本では、行政、事業者検診においても口腔がんについての啓発活動は少なく、官民一体になっての活動が望まれます。浜松市歯科医師会は、今後も口腔がんの死亡率を減少させるために地域内の連携を推進し、口腔がん早期発見の医療体制の確立に向けて、情報を発信し、活動を継続します。

## 一般社団法人浜松市歯科医師会における口腔がん早期発見事業への取り組み

一般社団法人 浜松市歯科医師会  
成人歯科専門部会

### 〈目的〉

平成 26 年の口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物の死亡数は 7,408 人と前年よりも 229 人増えました。厚生労働省が発表した「人口動態統計月報年計（概数）の結果」によるもので、人口 10 万対の死亡率でも前年よりも 0.2 ポイント伸びて 5.9 となっています。同死亡数は毎年増え続けていて、5 年前の平成 22 年は 6,796 人（死亡率 5.4）、10 年前の平成 17 年は 5,677 人（死亡率 4.5）と、この 10 年で 2,000 人近くも増えています。

また、口腔がんに関する正確な全国調査ではありませんが、わが国における口腔がん罹患率は 1975 年には 2,100 人、2005 年には 6,900 人、2015 年には 7,800 人を超えて今後は更に増加するであろうと予測されています。口腔がんは全がんの 1~2%、全頭頸部がんの約 40%を占め、男女比は 3:2 と男性に多く、40 歳代から増加し 60 歳代に最も多くなります。今後、人口の高齢化がさらに進むとまだまだ口腔がん患者も増加し続ける可能性があります。

アメリカ、イギリス、フランス、イタリアといった欧米の先進国とわが国の口腔・咽頭がんによる死亡率を比較すると 1900 年代までは欧米の 4 ケ国のほうが高かったのですが 2000 年代に入ってからわが国の死亡率が高くなってしまいました。

アメリカやイギリスなどでは国を挙げてがん対策に取り組んでいて、その結果、罹患率は高いのですがアメリカの口腔がんの死亡者数は、1997 年から 5 年間で約 1,200 人以上という急激な減少がみられますし、他の先進国の口腔・咽頭がんの死亡率をみても、アメリカと同様に減少傾向を示しています。

ところが、わが国では罹患率、死亡率とも残念ながら増加傾向を示しています。アメリカを含めた先進国で口腔がんの死亡率が減少しているのは、国を挙げての積極的な口腔がん対策による早期発見・早期治療があげられると思われます。特に各基幹施設や基幹病院が中心となって国民の口のなかを一番診るであろう歯科医師を教育し啓発する体制ができていることが大きいと思われます。

浜松市歯科医師会では日常の診察で口腔内を直視する歯科医院での口腔がん早期発見のスクリーニング機能の強化、市民への啓発活動を行うことによって、市民の健康の保持増進に役立つものと考え、地域の歯科医師、歯科衛生士等の歯科医療関係者を対象に、口腔がん早期発見に関する知識、医療技術の講習会、検診を行なうことにより、必要な医療体制を構築することを目的に口腔がん早期発見事業を実施しました。

### 〈方法〉

1. 浜松市歯科医師会会員を対象とした講習会（4回）
2. 市民公開講座による市民への啓発
3. 口腔がん無料相談
4. 浜松市歯科医師会会員を対象とした症例検討会を行いました。

#### 1. 浜松市歯科医師会会員を対象とした講習会

口腔がん早期発見のための基礎知識を学ぶため下記の4回の講習会を開催しました。

- |                                |           |
|--------------------------------|-----------|
| ①H25年 12月 26日「口腔粘膜の見方」         | (90名+9名)  |
| ②H26年 4月 24日「口腔がん 診断から治療まで」    | (102名+6名) |
| ③H26年 9月 25日「細胞診、組織診、病理、組織学健診」 | (106名+7名) |
| ④H27年 1月 29日「症例提示による治療の流れ」     | (89名+7名)  |

参加人数：(本会A・B会員+その他の会員)

全4回講習会の講師：浜松医療センター歯科口腔外科 科長(当時) 内藤克美先生

また、その講習会を収録したDVDの貸し出しを行い、当日出席出来なかった会員や復習を希望する会員への便宜を図っています。

#### 2. 市民公開講座による市民への啓発

市民に口腔がんを知ってもらい、早期発見が重要であることを啓発するために市民公開講座を開催しました。

#### ◆H27年 11月 8日「健やかなお口が健康寿命を延ばす～ホントに怖い口腔がん～」

講師：浜松医療センター歯科口腔外科 科長(当時) 内藤克美先生

参加人数 105名 (市民 55名 行政 10名 会員 40名)

受講した市民にはアンケートを実施しました。

また、この市民公開講座開催の為にチラシ(6000枚)を関係諸団体に配布し、市民への啓発を行いました。(資料2-1)

#### 3. 口腔がん無料相談

平成27年3月開催の病診連携シンポジウムにおいて各病院歯科の口腔外科医の先生に浜松市歯科医師会が開催する口腔がん検診へ参加、協力の意思を確認しました。

そして市内4病院口腔外科の先生方の協力をいただき、市民への啓発活動、会員の検診技術の向上のために口腔がん無料相談を行いました。相談時には、口腔外科医の指導の下、会員の歯科医師相互によるスクリーニング実習(OJT)と口腔外科医による口腔がん相談者の診査の見学を行いました。

◆H27年11月15日 場所：浜松歯科衛生士専門学校実習室

【協力口腔外科医】

- ・浜松医科大学付属病院口腔外科 増木一真先生
- ・浜松医療センター歯科口腔外科 内藤克美先生
- ・聖隷浜松病院歯科口腔外科 竹内啓人先生
- ・聖隷浜松病院歯科口腔外科 田中秀生先生
- ・協立十全病院歯科口腔外科 串田東作先生

浜松市歯科医師会会員 口腔粘膜疾患のスクリーニング実習（OJT）20名

対象者：浜松市民24名

結果：23名は異常なし、1名は要経過観察、口腔がんは発見されませんでした。

また、この口腔がん無料相談の為にチラシ(5000枚)を関係諸団体に配布し、市民への啓発を行いました。(資料3-1)

#### 4. 浜松市歯科医師会会員を対象とした症例検討会

日常の臨床で見られる症例を数多く供覧していただき、研修会を開催しました。

◆H28年5月26日「日常臨床で見られる口腔粘膜疾患、口腔がん」(A・B会員 115名)

講師 聖隷浜松病院 口腔外科歯科部長 竹内啓人先生

十全記念病院 歯科・口腔外科部長 串田東作先生

以上の方法で、市民への啓発活動、会員歯科医師のスキルアップ、各病院口腔外科との連携、協力を通して口腔がんの早期発見の体制づくりを目指しました。

#### 〈考察〉

##### 1. 地域の設定について

アメリカやイギリスなどの他の先進国では国を挙げてがん対策に取り組んでいて、その結果、罹患率が高いが、アメリカの口腔がんの死亡者数は、1997年から5年間で、約1,200人以上の急激な減少がみられますし、イギリス、フランス、イタリアといった他の先進国の口腔・咽頭がんの死亡率をみても、アメリカと同様に減少傾向を示しています。ところが日本では、死亡率・罹患率ともに増加傾向にあり、先進国では、日本のみが逆行し、取り残されているのが現状です。日本でも、国、東海圏、県などの広域で早期発見システムができれば問題ありませんが、現在のところ不可能なようですので、浜松市単独あるいは可能ならば西部医療圏である湖西市を含んだ地域での事業を設定することも検討課題です。他地区の歯科医師会、行政と共同事業が可能なのか問題となります。

##### 2. 市民への啓発活動として

パンフレット等により口腔がんを含めた口腔粘膜疾患、予防の為に必要な生活習慣を掲

載し、広く市民に知ってもらうことが重要であり、また、各診療所での啓発活動や市民公開講座の開催も継続していく必要があります。

### 3. 検診システムの構築及び歯科医師のスキルアップについて

早期発見できるシステムを構築するには、行政、歯科医師会による住民への啓発活動の継続、歯科医師会会員によるスクリーニング技術の向上と病診連携の強化が必要だと考えられます。さらに速やかに病院歯科での確定診断、かかりつけ歯科医院での経過観察、あるいは病院歯科での治療体系の確立が望まれます。

ここで問題になってくるのが、スクリーニングの問題です。典型的な軟組織疾患や高度な炎症が認められる場合の病診連携はすでに完成しておりますが、Stage1、2での早期発見のためのスクリーニングの技術が構築されておらず、また、各種スクリーニングに対して、病院歯科が対応可能かどうか不明です。

スクリーニングの方法としては、視診、問診、触診、染色液の応用、液状化細胞診、レーザーの応用などが挙げられますが、染色液の応用の内、ヨード染色法などは研修が必要だと思われます。液状化細胞診は、保険適用ですが現在のところ病診連携が可能かは不明です。アメリカで使用されているレーザー光線を応用したスクリーニングは魅力的ですが、保険適用はなく、機材の購入が必要となり、現在のところ科学的な根拠が不足しています。啓発活動として、口腔がん検診や相談を実施するかどうか検討課題です。実施する場合、今回の状況からすると、来場者のことを考えるとバリアフリーである施設で行うほうが望ましいように思われます。また、地域の偏りがないよう数ヶ所で行うことも検討が必要です。

今後は、スクリーニング方法を決定していくと同時に歯科医師のスキルアップが必要です。口腔粘膜疾患の鑑別、口腔がんのみならず周術期口腔ケア、化学療法の副作用による粘膜疾患への対応、ナディア期の対応や骨粗鬆症患者への対応、MRONJの診断なども含み研修が必要と考えられます。

※ナディア期…化学療法の期間中に、最下点（ナディア：nadir）という言葉が使われます。体の中の血球数が一番少ない数になった状態を意味し、そのため感染の起こりやすい時期です。

※MRONJ……骨吸収抑制作用を持つビスフォスフォネート製剤（BP）とデノスマブ（ランマーク、プラリア）や血管新生抑制作用を持つ抗がん剤（アバサチン、スーテント、ラパマイシン、ネクサバル）の使用後、副作用として顎骨壊死が生じ、粘膜・皮膚に露出した状態をいいます。

また、高齢になるほど口腔がん発症のリスクが増えることから、歯科医院に通院が可能な高齢者のみならず、在宅、施設など訪問診療時の対応も考慮する必要があると思われます。歯科訪問診療でのスクリーニング、病診連携のシステム作りを推進していくことが必要です。

#### 4. 病診連携の強化、維持

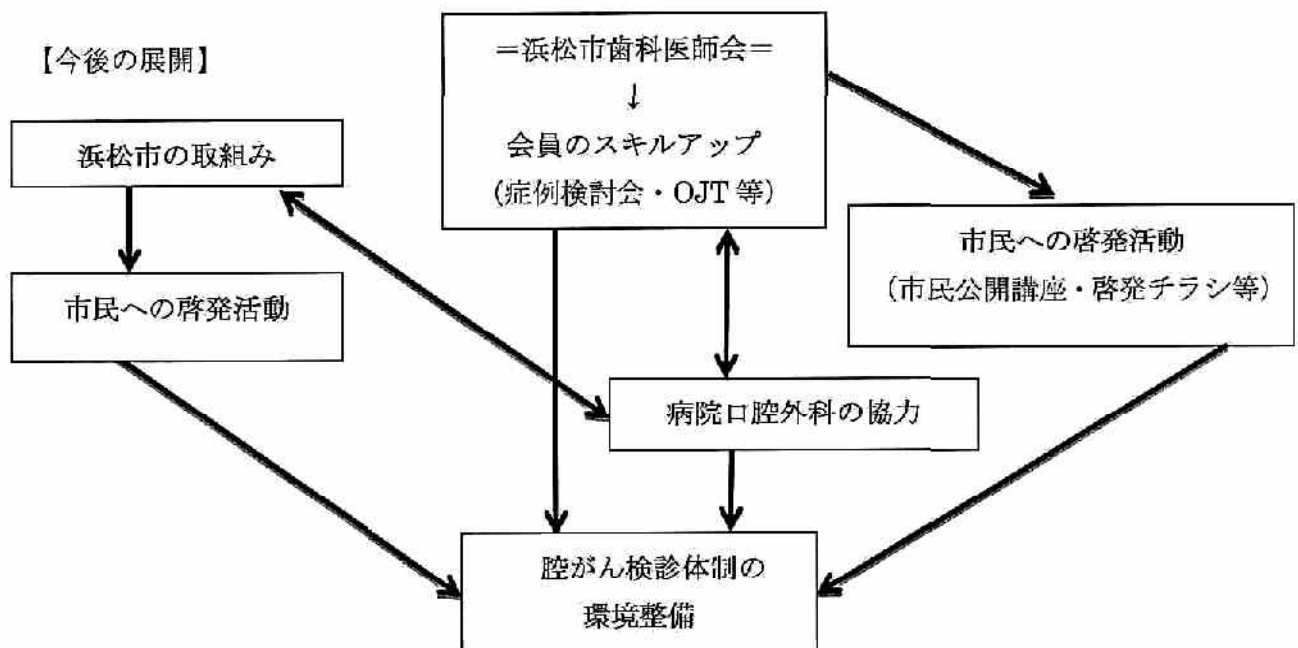
引き続き研修会開催を継続し、研修会、スクリーニング、検診等について市内病院歯科と歯科医師会との協議会等を開催する。また病院側の要望を聞き、地域医療ネットワークの構築に努める。そのためには、各病院との連携の方法（地域連携室の有無、口腔がん患者の受け入れの可否等）を確認する必要があります。

#### 5. 事業評価

事業評価として統計による結果報告が望ましいところですが、目処がありません。口腔がんの発見数の他、軟組織疾患等の発見数を評価の対象にするのも方法です。千葉県市川市の口腔がん検診では、0.17%程度の検出率とされています。また、千葉県千葉市の口腔がん個別検診でも11年間で、0.13%の検出率であったとの報告がありました。これは他臓器のがん検診と比較してもほぼ同等の成績であり液状化細胞診を用いた口腔がん検診の有用性が示唆されています。しかし浜松市では、口腔がん検診は、口腔がんが希少がんであり総数が少ないためか行政の協力が得にくいようです。

早期発見により死亡率が減少するかどうかが一番の評価の基準ですが統計資料がありません。行政等との連携を模索し、また地域医療ネットワークを構築し、病院側より紹介患者数、口腔がんおよび口腔粘膜疾患の数等の情報提供の協力をお願いすることが必要です。

口腔がん以外の口腔粘膜疾病に関する評価も考慮し、希少がんといわれる口腔がんのみならず口腔粘膜疾患を評価することにより、事業や診療の効率が高まると考えられます。





#### 〈まとめ〉

アメリカを含めた先進国では、なぜ口腔がんによる死亡率が減少しているのでしょうか。それは、国を挙げての積極的な口腔がん対策による早期発見、早期治療が挙げられると思われます。特に各基幹施設や基幹病院が中心となって、国民の口の中を一番診るであろう歯科医師を教育し啓発する体制ができていることが大きな理由といわれています。国民に口の中にもがんができることを知ってもらい、口腔がん予防対策を広く普及させ、口腔がんにならないようにすること、さらに口腔がんの検診システムを構築することが、口腔がん死亡する人を少なくすることにつながると思われます。

また日本では、行政、事業者検診においても口腔がんについての啓発活動は少なく、官民一体になっての活動が望まれます。浜松市歯科医師会は、今後も口腔がんの死亡率を減少させるために地域内の連携を推進し、口腔がん早期発見の医療体制の確立に向けて、情報を発信し、活動を継続します。

#### （参考文献）

- 1) Tanaka,S,Sobue,T:Comparison of oral and pharyngeal cancer mortality in five countries:France,Italy,Japan,UKandUSA from WHO mortality database (1960-2000). Jpn.J.Clin.Onkol.35 : 488-491, 2005
- 2) 田中陽一：口腔がんを早期発見するために歯科における地域連携と“病理の役割”。歯科学報 Vol. 112 No.1 : 2012
- 3) 平成 26 年人口動態統計月報年計（概数）の概況：厚生労働省
- 4) 矢野尚、松坂賢一、坂元正樹、村上聡、秦暢宏、橋本和彦、薬師寺孝、金子充人、花澤康雄、丹沢秀樹、片倉朗、柴原孝彦、井上孝：口腔がん個別検診にて行われた液状化検体細胞診を用いた擦過細胞診の臨床統計学的検討—千葉市における 11 年間の推移—。歯科学報 Vol. 116 No.4 : 332—337. 2016

## 口腔がん早期発見事業

### 1. 会員のスキルアップのための講習会

#### 第1回口腔がん早期発見事業講習会

平成25年12月26日(木) 午後7時～

演題 「口腔粘膜の見方 ～口腔がん検診への第一歩～」

講師 浜松医療センター歯科口腔外科 科長 内藤 克美 先生

出席者 90名

#### 第2回口腔がん早期発見事業講習会

平成26年4月24日(木) 午後7時～

演題 「口腔がん 診断から治療まで」

講師 浜松医療センター歯科口腔外科 科長 内藤 克美 先生

出席者 102名

#### 第3回口腔がん早期発見事業講習会

平成26年9月25日(木) 午後7時～

演題 「細胞診、組織診、病理、組織学的研修」

講師 浜松医療センター歯科口腔外科 科長 内藤 克美 先生

出席者 106名

#### 第4回口腔がん早期発見事業講習会

平成27年1月29日(木) 午後7時～

演題 『症例提示による治療の流れ』

講師 浜松医療センター歯科口腔外科 科長 内藤 克美 先生

出席者 89名

## 2. 市民への啓発のための市民公開講座

平成 27 年 11 月 8 日 市民公開講座

演題：健やかなお口が健康寿命を延ばす～ホントに怖い口腔がん～

講師：浜松医療センター歯科口腔外科 科長 内藤 克美 先生

参加者 105 名 (市民 55 名 行政 10 名 会員 40 名)

## 3. 市民への啓発及び会員のスキルアップのための口腔がん無料相談

平成 27 年 11 月 15 日 口腔がん無料相談

協力口腔外科医

- ・浜松医科大学付属病院口腔外科 増本 一真 先生
- ・浜松医療センター歯科口腔外科 内藤 克美 先生
- ・聖隷浜松病院歯科口腔外科 竹内 啓人 先生
- ・聖隷浜松病院歯科口腔外科 田中 秀生 先生
- ・協立十全病院歯科口腔外科 串田 東作 先生

浜松市民 24 名

浜松市歯科医師会会員参加者 (OJT) 20 名

## 4. 会員の更なるスキルアップのための症例検討会

平成 28 年 5 月 26 日 症例検討会

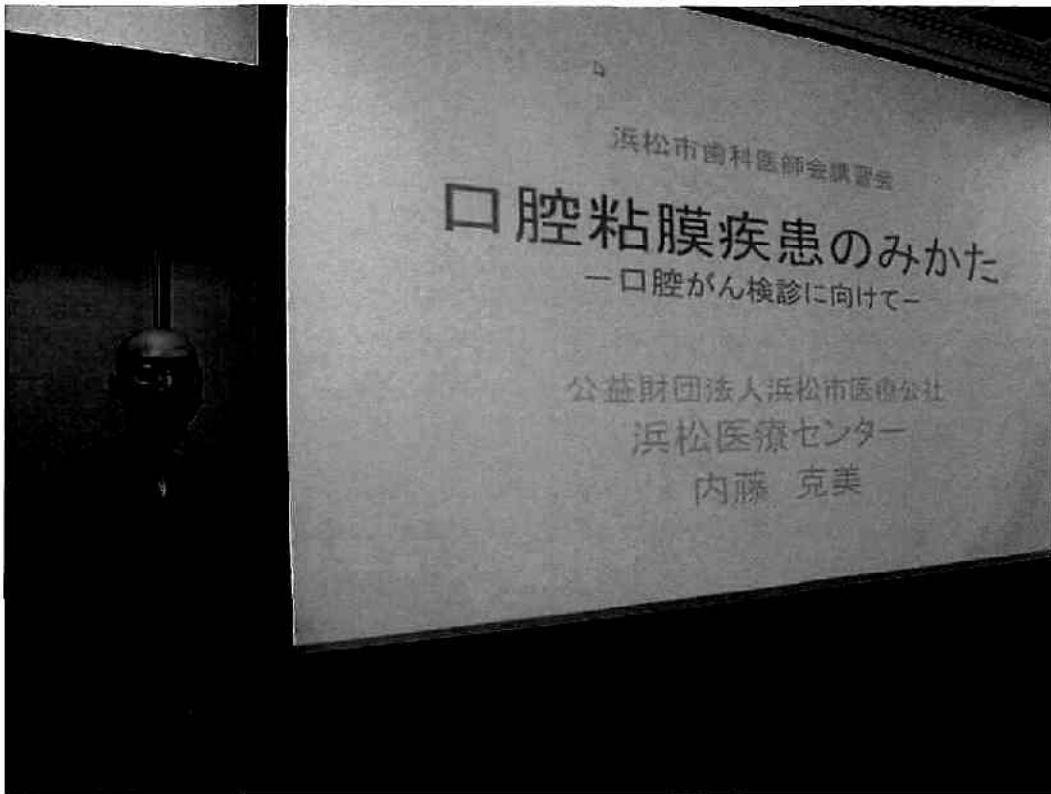
演題：日常臨床で見られる口腔粘膜疾患、口腔がん

講師：聖隷浜松病院口腔外科歯科部長 竹内 啓人 先生

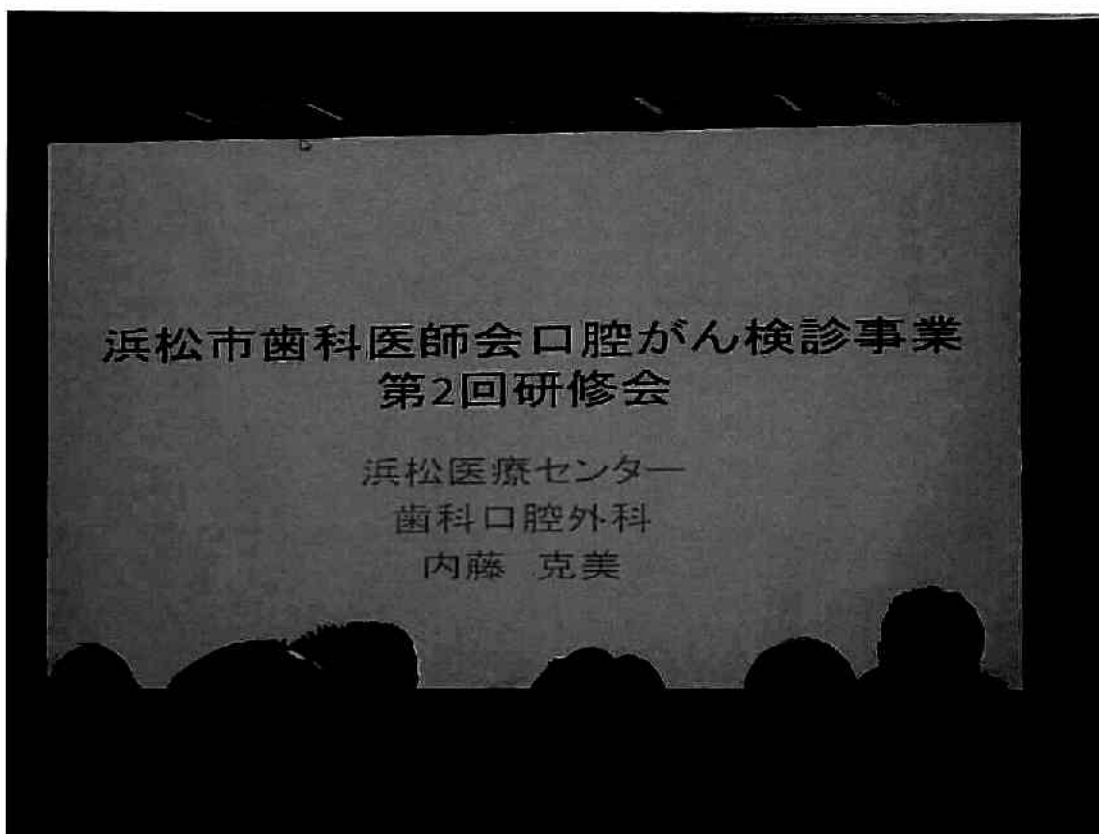
十全記念病院歯科・口腔外科部長 串田 東作 先生

参加者 112 名

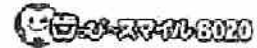
資料 1-2 内藤先生の講習会の様子（平成 25 年 12 月 26 日）



資料 1-3 内藤先生の講習会の様子（平成 26 年 4 月 24 日）



平成27年度 第1回 市民公開講座



# 歯とお口の健康セミナー

## 健やかなお口が健康寿命を伸ばす

～ホントに怖い口腔がん!～

平成27年

# 11月8日(日)【10:00～】

## 浜松市地域情報センター



浜松医療センター  
歯科口腔外科 科長  
内藤克美先生

**対象**  
浜松市民  
定員100名  
予約制

**お申込方法**  
はがき・FAX・メールで受付いたします。  
氏名、年齢、連絡先住所、電話番号をお知らせください。

**お申込先 (一社)浜松市歯科医師会**  
〒432-8023 浜松市中区鶴江2-11-2  
■FAX: (053) 453-8893  
■e-mail: office@hamashi.com

**お申込締切日 9月30日(水)当日消印有効**

**入場無料**

※本券が多数の場合は抽選となります。

浜松市歯科医師会 発行



市民公開講座に参加された方には…

「うごく&スマイル」の  
ポイントがつかめます。

うごく&スマイルとは、「自分の健康は自分で守る」という健康を高め、笑顔に楽しく健康づくりに取り組む市民をサポートする事業です。詳しくは、浜松市役所ホームページ「うごく&スマイル」をご覧ください。



次回予告

## あいうべ体操

～口を閉じれば病気になる～

講師: みらいクリニック院長 今井一彰先生

平成28年  
1月17日(日) 10:00～

**入場無料**

プレスタワー17階  
静岡新聞ホール

主催 浜松市 / 一般社団法人 浜松市歯科医師会



## アンケート記入のお願い

本日の市民公開講座に、ご来場いただき、誠にありがとうございました。  
今後の参考とさせていただきたくアンケートへのご記入をお願いします。

でお答えください。

1. あなたの性別、年齢は？

- 男    女                       20 歳代       30 歳代       40 歳代  
 50 歳代       60 歳代       70 歳以上

2. 今日の市民公開講座の内容で参考になったことはありましたか？

- あった                       あまりなかった                       なかった

どんな点が参考になりましたか

3. 今回の市民公開講座は何でお知りになりましたか？（複数回答可）

- 歯科医院で     歯科医師会ホームページ  
 広報はままつ     区役所・公民館など  
 病院（医療センターなど）     その他

4. 今後の市民公開講座で聞いてみたい内容について（複数回答可）

- 最先端の歯科治療について                       歯ならびやかみ合わせについて  
 介護における口腔清掃について

5. 講演会や企画について、ご意見がありましたらお知らせください

ご協力ありがとうございました。

＝次回の市民公開講座のご案内＝

平成28年1月17日(日)10:00 ～ 入場無料

「あいうべ体操・口を閉じれば病気にならない」 みらいクリニック院長 今井一彰先生

於:プレスタワー17F「静岡新聞ホール」

次回もどうぞご来場ください。

## 資料 2-3 市民公開講座アンケート結果

### 平成 27 年度第 1 回市民公開講座アンケート

日時；平成 27 年 11 月 8 日（日） 10：00～

場所；浜松市地域情報センター

演題；健やかなお口が健康寿命を延ばす ～ホントに怖い口腔がん～

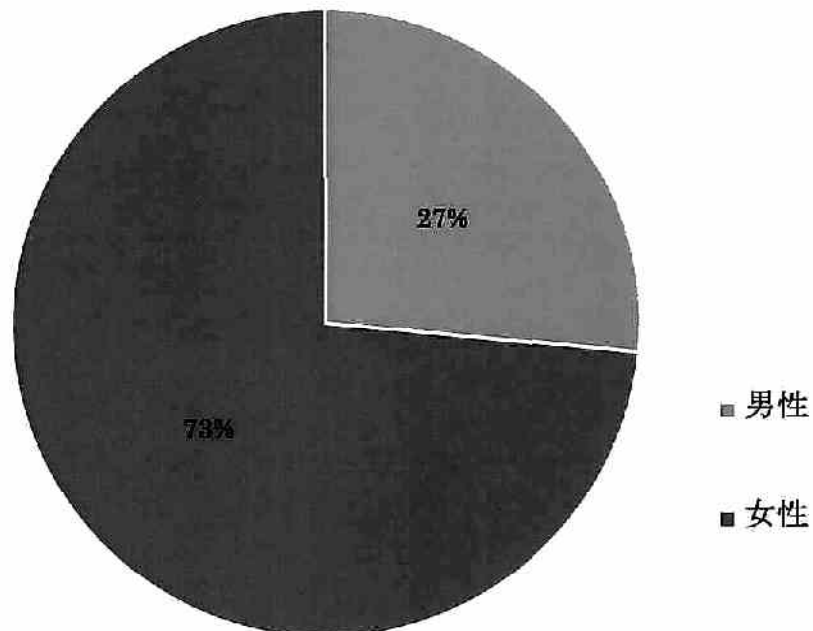
講師；浜松医療センター 歯科口腔外科 科長 内藤克美

#### 1. あなたの性別、年齢は？

	～20 歳	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 歳～	計
男性	0	0	0	1	3	3	6	13
女性	0	1	1	3	7	11	13	36
計	0	1	1	4	10	14	19	49

① 性別 男 13 名 (26.5%) 女 36 名 (73.5%)

受講者性別

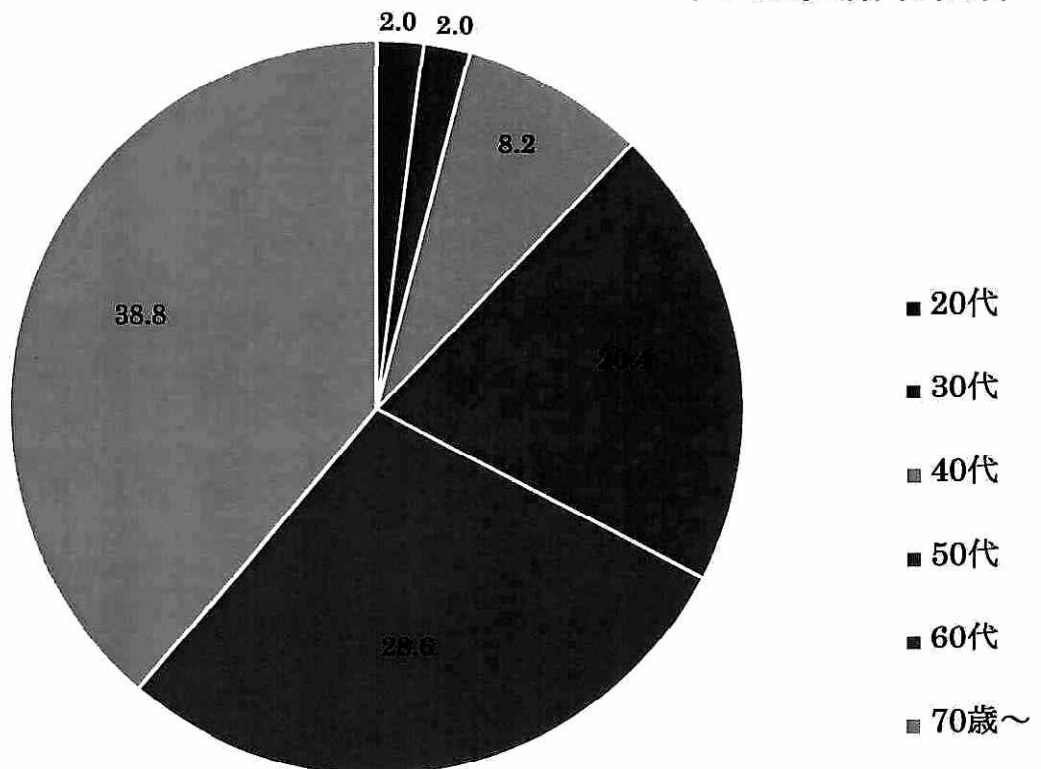




② 年齢

20歳代	1名	(2.0%)
30歳代	1名	(2.0%)
40歳代	4名	(8.2%)
50歳代	10名	(20.4%)
60歳代	14名	(28.6%)
70歳代	19名	(38.8%)

年代別受講者割合



## 2. 今日の市民公開講座の内容で参考になったことはありましたか？

あった 49名 (100%)      あまりなかった 0名      なかった 0名

### どんな点が参考になりましたか

- ・ 歯の健康について
- ・ 早期治療の大切さ、早期発見の大切さ
- ・ 日常生活での留意することの大切さ（口腔の清潔、検診）
- ・ 以前がま腫の手術を受けたので心配
- ・ 口腔がんにならないために口の中のケアが大切なことがわかった
- ・ 口腔がんの怖さを知った
- ・ わかりやすく話してもらって、これからの生活に生かしたい
- ・ 舌がんの話
- ・ 実際の手術のビデオなど見るができない体験ができた
- ・ 歯周病検診で口腔がんを診てくれていること
- ・ 口腔がんもいろいろながんがあることがわかった
- ・ 好発部位や舌苔との関連性など
- ・ 口の中を常によく見たいと思った
- ・ 口の中を定期的に歯医者で検診していくことが大切だと改めて感じた
- ・ がんは骨までいくので恐ろしいと思う
- ・ BMAの心配があること
- ・ 口腔がんの予防
- ・ 口腔がんの最新治療と危険因子について
- ・ がんにしめる口腔がんの割合はごく少ないが、第1次予防に努めないと大きな手術につながるので注意が必要
- ・ 歯と口の大切さ、自分の歯で食べることが健康寿命延伸につながる
- ・ 口腔がんの症例写真
- ・ 早期発見のためのポイント

## 3. 今回の市民公開講座は何でお知りになりましたか？（複数回答可）

歯科医院で	6名 (10.9%)
歯科医師会ホームページ	0名
広報はままつ	23名 (41.8%)
区役所・公民館など	15名 (27.3%)
病院（医療センターなど）	1名 (1.8%)
その他	10名 (18.2%)

#### 4. 今後の市民公開講座で聞いてみたい内容について（複数回答可）

最先端の歯科治療について	24名
歯ならびやかみ合わせについて	21名
介護における口腔清掃について	20名

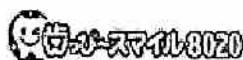
#### 5. 講演会や企画について、ご意見がありましたらお知らせください

- ・健康寿命を維持していくための心の問題、身体の問題にスポットを当てたアドバイス
- ・人は口から食べて、下から出すとの自然の摂理とおもいます。この点の連携を説明してほしい
- ・歯そうのうろうろについて知りたい
- ・先日受講者が参加して、立ち上がったたり、声を出す講座がありましたが大変有効だと思いました。歯ではあまり動きは取れません。今回の「あいうべ」体操のように参加者が実際に声を出す等の催しは如何でしょうか
- ・介護における口腔清掃の必要性についての講演を期待する
- ・題名どおりこわかった 少し気分が悪くなった
- ・手元に資料があったらよかった
- ・働き世代を対象とする講演会などの企画を希望
- ・かみ合わせのことを聞きたい

歯周病と肺炎や生活習慣病との関係を詳しく聞きたかった

資料 2-4 市民公開講座の様子





# 口腔がん無料相談

～お口の中拝見します～

こんな症状はありませんか？

1. 舌や唇、口の中の粘膜がただれている！
2. 触れると硬いしこりやできものがある！
3. 粘膜が赤かったり、白い模様、黒い色がついている！
4. 口内炎やキズがなかなか治らない！
5. 口の中に違和感・しびれ・痛み・出血がある！

- がん(口腔がん)は口の組織にも発生し、早期発見、早期治療が非常に有効です。口腔がん対策が進んでいる国では、死亡者数は減少していますが、日本では進行してから発見される事が多く、罹患率、死亡者数ともに増加しています。
- 市内の病院歯科口腔外科医の協力を得て、市民の健康寿命の延伸、および生活の質の向上を目指すために本事業を企画しました。

## \* 日 時 \*

平成27年11月15日(日)  
13:00～15:00  
(最終受付14:30)

## \* 場 所 \*

浜松歯科衛生士専門学校2階  
(浜松市保健所隣り)

◇申し込み方法: はがき、FAX、メールにて受け付けます

氏名、年齢、連絡先住所、電話番号をお知らせください

住 所: 〒432-8023 浜松市中区鶴江2-11-2

(一社)浜松市歯科医師会

FAX: (053)453-8893

メール: office@hanashi.com

◇締め切り: 9月30日(水)当日消印有効

◇定 員: 30名(応募者多数の場合は抽選)

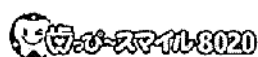
◇注意事項: 時間はお一人約15分です

※対象は浜松市在住で20歳以上の方

(本事業は歯科医師会会員の研修も兼ねて行われます)

**主催**

● 一般社団法人 浜松市歯科医師会 / 浜松市



年 月 日

様

時 間:平成27年11月15日(日) 午後 時 分頃

(15分前に会場へお越しください)

持 ち 物:問診票(事前に必要事項記入し、当日お持ちください)

相談会場:浜松市中区鴨江2-11-2

浜松歯科衛生士専門学校2階

「口腔がん無料相談」はこんな内容です

口腔がんは40歳を過ぎる頃からみられるようになり、加齢とともに発生率は上昇します。

今回おこなう「口腔がん無料相談」の最大の目的は、より多くの方に「口腔がん」を知っていただき、早期発見に役立てていただくことです。

口腔がんの多くは直接目で見て触れることができます。そして、肺がんや大腸がんなどと同じで、進行すると命に関わる病気です。しかし、初期のうちに適切な治療が行われれば、十分に治癒が見込める病気です。

口腔外科専門医とともに我々歯科医師が問診を行い、お口の中を拝見しますが、口を開けただけでは十分に観察できない場合は、舌や唇を前や上に引っ張り上げて視たり触ったりさせていただくこともあります。

※相談結果につきましては個人情報の保護に万全を期します。

=連絡先=  
(一社)浜松市歯科医師会事務局  
浜松市中区鴨江2-11-2  
Tel 053-453-8847  
Fax 053-453-8893

住所	〒 - 浜松市 区		電話番号	
フリガナ		男	生年月日	大正・昭和・平成 年 月 日
氏名		女		
(1) 口腔がん検診を受けたことがありますか？	1: ある                      2: ない ※ 1:ある とお答えの方に伺います どのくらい前に受けましたか？ (                      )			
(2) 現在、右のような症状はありますか？	1: 舌や頬の粘膜、歯ぐきがただれている 2: しこりや腫れなど肥大したところがある 3: 粘膜が赤かったり、白い模様、黒い色が付いている 4: 口内炎やキズがなかなか治らない 5: 入れ歯が合わなくてキズがある 6: 舌や頬をたびたび誤って咬んでしまう 7: その他 (                      )			
(3) 現在かかっていたり、以前に治療を受けた病気はありますか？	1: ない 2: がん (部位はどこですか?                      ) 3: 胃・十二指腸潰瘍      4: 肝炎・肝硬変      5: 高血圧      6: 心臓病 7: 腎臓病      8: 糖尿病      9: 脳出血・脳梗塞      10: 皮膚疾患 11: 婦人科の病気      12: 大きな外傷      13: 歯周病 14: その他 (                      )			
(4) たばこは吸いますか？	1: 以前から吸わない 2: 今は吸わない (                      年前にやめた) 3: 吸う (1日                      本、喫煙年数                      年)			
(5) お酒を飲みますか？	1: 飲まない 2: 今は飲まない (                      年前にやめた) 3: 時々飲む 4: 毎日飲む (ビール                      本) (日本酒                      合) (焼酎                      杯) (ウイスキー                      杯) (その他                      )			
(6) 血縁の方でがんにかかった人はいますか？	1: いない                      2: いる ※ 2:いる とお答えの方に伺います 誰が? (                      )      どの? (                      )			
(7) かかりつけ歯科医はありますか？	1: ある (                      )      2: ない			
(8) 口腔外科医とともに歯科医師もお口の中を拝見することを同意していただけますか？	1: 同意する                      2: 同意しない			

平成 27 年 11 月 15 日

# 口腔がん無料相談記録票

<歯科医師記入欄>

相談者氏名 \_\_\_\_\_

担当医師名 \_\_\_\_\_

**■発現状態**

<input type="checkbox"/> 限局性	<input type="checkbox"/> びまん性
<input type="checkbox"/> 多発性	<input type="checkbox"/> 単発性
<input type="checkbox"/> 広汎性	
<input type="checkbox"/> その他( _____ )	

**■形態**

<input type="checkbox"/> 潰瘍
<input type="checkbox"/> びらん
<input type="checkbox"/> 腫脹/腫瘤
<input type="checkbox"/> 出血
<input type="checkbox"/> 水泡
<input type="checkbox"/> ポリープ状
<input type="checkbox"/> レース状
<input type="checkbox"/> その他( _____ )

**■感覚**

<input type="checkbox"/> 自発痛
<input type="checkbox"/> ヒリヒリ感
<input type="checkbox"/> 圧痛
<input type="checkbox"/> 刺激痛
<input type="checkbox"/> 麻痺感
<input type="checkbox"/> その他( _____ )

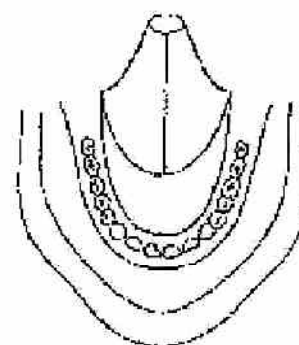
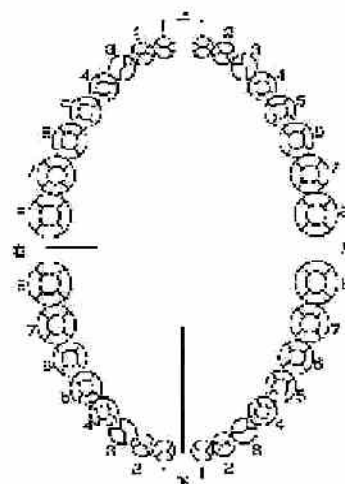
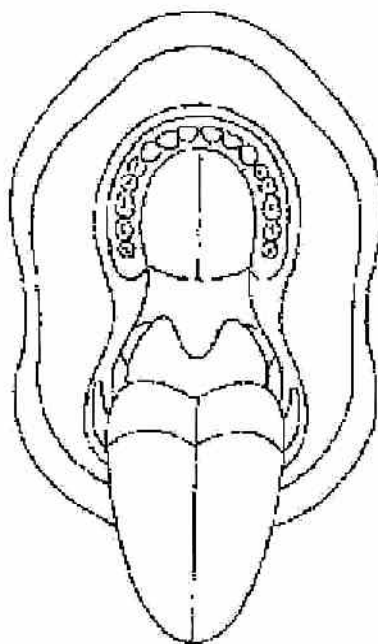
**■色調**

<input type="checkbox"/> 健康色
<input type="checkbox"/> 白色
<input type="checkbox"/> 赤色/紅斑
<input type="checkbox"/> その他( _____ )

**■リンパ節腫脹**

<input type="checkbox"/> あり( _____ )
<input type="checkbox"/> なし

**所見**



異常なし (ただし、主訴部位は \_\_\_\_\_ であった)

**相談結果**

異常あり  (要経過観察) (疑わしい病名: \_\_\_\_\_)

(要精密検査) (疑わしい病名: \_\_\_\_\_)



平成27年11月15日

診療所名

先生御机下

先生におかれましては、平素より浜松市歯科医師会の活動にご協力いただきまして、厚く御礼申し上げます。

平成27年11月15日（日）、市内病院歯科口腔外科医の協力を得まして「口腔がん無料相談」を行い、貴院をかかりつけ歯科医院としている相談者の結果をご報告致します。

口腔がんの精密検査が必要でなくても歯科疾患の加療や経過観察が必要とされる場合は、かかりつけ歯科医院をご紹介します。

氏名	様	男・女
		生年月日 T・S・H 年 月 日

異常なし (主訴: )

異常あり(要経過観察)(疑わしい病名 )

御高診のほどよろしく申し上げます。

(一社) 浜松市歯科医師会 会長 大野守弘  
同 成人歯科専門部会部長 朝比奈尚之

口腔がんの精密検査は必要ないと思われませんが、同封の口腔がん無料相談記録票に記載しておりますように、口腔内に病変が認められます。加療または経過観察をお願いします。

口腔がん無料相談担当歯科口腔外科医 コメント

病院歯科口腔外科

口腔外科専門医

平成27年11月15日

診療所名

先生御机下

先生におかれましては、平素より浜松市歯科医師会の活動にご協力いただきまして、厚く御礼申し上げます。

平成27年11月15日（日）、市内病院歯科口腔外科医の協力を得まして「口腔がん無料相談」を行いました。貴院をかかりつけ歯科医院としている相談者の結果をご報告致します。今回は、口腔がんの精密検査が必要です。かかりつけ歯科医院から精密検査を担当することになった病院歯科口腔外科への紹介をお願いしております。病院歯科口腔外科の受診には、医療機関からの紹介状が必要です。ご紹介先の病院への資料は同封します。

氏名 \_\_\_\_\_ 様 男・女  
生年月日 T・S・H 年 月 日

異常あり(要精密検査) (疑わしい病名 \_\_\_\_\_ )  
御高診のほどよろしく申し上げます。

(一社) 浜松市歯科医師会 会長 大野守弘  
同 成人歯科専門部会部長 朝比奈尚之

口腔がんの精密検査が必要と思われます。同封の口腔がん無料相談記録票に記されておりますように、口腔内に病変が認められます。歯科口腔外科への紹介をお願いします。

口腔がん無料相談担当歯科口腔外科医 コメント

病院歯科口腔外科  
口腔外科専門医

資料 3-7 口腔がん無料相談の様子（平成 27 年 11 月 15 日）

